

Day 10 August 4(Fri.), 2017

今日のアッシュバートンは雲一つない快晴、最高気温は9℃、最低は-4℃



今日の午前中はアッシュバートン校で受ける最後の授業参加でした。霜の降りた寒いけれど美しい朝、子どもたちはバディに連れられて登校し、それぞれの教室へと向かいました。

各教室にて3時限目まで勉強したら、全員講堂に集まり、一緒に昼食を取りました。このランチボックスは、ホストファミリーが毎日用意してくれるもので、日本の道具箱くらいの大きさがあります。中には、サンドイッチのような主食だけでなく、リンゴ、ミカン等の果物、ナッツ、レーズン、チョコレートバー、クッキー、マフィン、チーズ、ケーキ等美味しいものがぎっしりと詰まっており、生徒たちのお腹を一日満たしてくれる玉手箱のような存在でした。

笑顔でモリモリと食事を済ませると、午後の老人ホーム訪問に備えてステージでリハーサルをしました。並び方や発表の流れを確認し、いざ出発です。



ローズバンクは 1992 年に設立されたお年寄りが医療を受けながら安心して暮らせる施設です。アッシュバートンカレッジに隣接しているなので、みんなで歩いて行きました。

中に入ると、はつらつとしたスタッフの方々に迎えられ、大きな憩いの場に案内されました。そこには30人ほどのお年寄りがコの字型に座っていらっしゃいます。生徒は部屋の中央に二列に並ぶと、最初に

校歌を歌いました。続いてソーラン節の発表、どれも上手にできました。

次にそれぞれ入居者の方のところへ行き、用意してきた道具を使い一対一で日本文化を伝えます。一緒に折り紙を折って、鶴、花、風船、小物入れを作る生徒、ブンブン駒の回し方を教える生徒、半紙に筆で漢字を一緒に書いている生徒、みんな一生懸命にコミュニケーションをしていました。その姿はこの国に到着した時の堅かった表情とは全く変わっていて、この1週間の大きな成長を感じました。



交流の最後に「花は咲く」を歌い、いよいよ締め括る歌（蛍の光：英語名 Auld Lang Syne）を歌う時が来ました。お年寄りと手と手を取り合い、ピアノの伴奏に合わせて声を揃えると、輪のあちこちで、



気持ちが高まり涙を流す生徒がいました。。

いよいよ明日明後日がホストファミリーと過ごす最後の週末です。忘れがたいたくさん思い出を作ることでしょう。

